

<記載例> 世帯構成 大人5人(うち高齢者2人)
生活環境 自宅は浸水想定区域内にある

いざというときにあわてず行動するため、
自分自身で「タイムライン」を作りましょう。

STEP 1 自宅の状況を確認

あなたの住んでいる地域は？
 浸水想定区域 土砂災害警戒区域
 住んでいる場所の浸水想定深は？
 【原因 (〇〇川) 浸水深 (3~5m)】

STEP 2 避難先・避難経路を決定

どこに避難する？
 候補1 A小学校 【歩いて約 20/60分】 ⇒ 【土砂災害警戒区域は迂回】
 候補2 親戚の家 【歩いて約 30/90分】 ⇒ 【避難の途中で注意する場所は？】

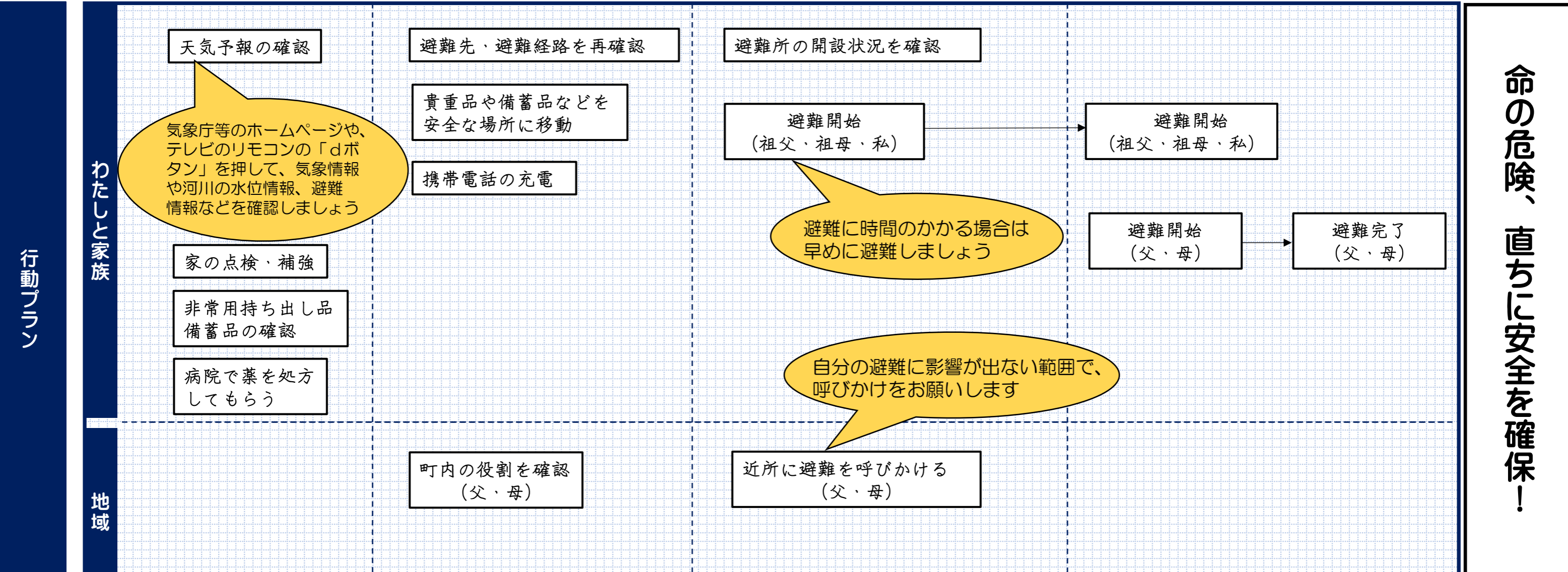
● 家族の連絡先 / 緊急連絡先

TEL △△△ - △△△ - △△△△ (父)
 TEL □□□ - □□□ - □□□□ (母)
 TEL ○○○ - ○○○ - ○○○○ (親戚)
 TEL ☆☆☆ - ☆☆☆ - ☆☆☆☆ (職場)

避難に時間がかかる方とそうでない方がいる場合は、両方の時間を書きましょう

避難経路に危険箇所がある場合は、安全な別の経路も確認しましょう

(警戒レベル) 取るべき行動	(レベル1) 災害への心構えを高める	(レベル2) 自主避難など注意の呼びかけ	(レベル3) 避難に時間がかかる人は危険な場所から避難！	(レベル4) 危険な場所から全員避難！	(レベル5) 災害の発生又は切迫！
避難情報 等		自主避難など	高齢者等避難	避難指示	
気象警報 災害情報 等	早期注意情報 (警報級の可能性)	レベル2大雨注意報 / レベル2土砂災害注意報	レベル3大雨警報 / レベル3土砂災害警報	レベル4大雨危険警報 / レベル4土砂災害危険警報	
	早期注意情報 (警報級の可能性)	レベル2高潮注意報	レベル3高潮警報	レベル4高潮危険警報	
		レベル2氾濫注意報	レベル3氾濫警報	レベル4氾濫危険警報	



命の危険、直ちに安全を確保！